

法人(事業所)理念	<p>株式会社GrandLifeが開設する児童発達支援Moreが行う指定児童発達支援の事業の適正な運営を確保するために人員及び管理 運営に関する事項を定め、事業所の指導員、保育士等が利用者に対し、適正な指定児童発達支援を提供することを目的とする。</p> <p>①指定児童発達支援の提供に当たっては、利用者が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。</p> <p>②従業者は、指定児童発達支援の提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又は、その支援を行う者に対し、サービスの提供方法等について、理解しやすいように説明を行う。</p> <p>③指定児童発達支援の提供に当たっては、指導技術の進歩に対応し、適切な指導技術をもってサービスの提供を行う。</p> <p>④常に利用者の心身の状況を的確に把握するとともに、必要に応じ、当該利用者の特性に応じた指定児童発達支援の提供ができる体制を整える。</p>		
支援方針	<p>乳幼児期の子どもたちにとって、家族以外の大人とも信頼関係を築くことや、子ども同士で遊ぶことも大切だと考え、安心して、楽しく学べる場所を子どもたちと一緒につくります。More で過ごす生活の全てに「楽しい」がモットーのリハビリ視点を取り入れ、楽しい、またやりたい、もっとやりたいと、子どもたちのやる気を引き出します。看護師も常駐しているので、医療的ケアが必要な子どももお友だちと一緒に何事にも安全に挑戦・経験できます。多様な子どもたちが集まって、いろいろな遊びや活動をする中でお互いに育み合う心身の発達を、医療・リハビリ・教育分野の専門スタッフがチームで子どもたちを全力でサポートします。保護者やきょうだい児にも寄り添い、ご家族が住みたい地域で生き生きと過ごせるように包括的にサポートします。</p>		
営業時間	<p>月曜日～金曜日（休業日：土日祝日、12月29日～1月3日）</p> <p>営業時間：9時30分から16時00分まで</p> <p>サービス提供時間：10時00分から16時00分まで</p>	送迎実施の有無	なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<p>子どもの心身の状態把握に努め、日中の活動内容や運動量、食事量、休養（お昼寝、ダウンタイムなど）の調整をするなど、保護者と相談しながら一緒に子どもの健康管理を行い、子どもの年齢や個性に配慮した生活リズムや生活習慣の形成・改善・安定を図ります。医療的ケアが必要な子どもには、主治医の指示に基づき、医療的ケアも実施します。子どもの状態像に応じて将来を見据えながら、睡眠・食事・排泄・衣服の着脱・清潔等に関する基本的な生活スキルの習得に向けて支援します。</p>	

運動・感覚	<p>1人ひとりの年齢や発達段階、医療的ケアの有無などに配慮しながら、机上活動や運動活動、お散歩などをスケジュールの中にバランスよく組み入れ、子どもの集中力や体を動かす意欲を高めつつ、さまざまな粗大運動や微細運動を経験する活動を個別または集団で行い、基礎体力や運動機能の向上を図ります。また、視覚や聴覚などの五感やバランス感覚、力の強弱、距離感などさまざまな体の感覚・感触の発達・習得も常に留意し、日常的にそれらを促せるように丁寧な言葉がけに努め、視覚支援（ジェスチャー、手話、ピクチャーカードなど）や補助及び代行手段（姿勢保持装置、食事時の自助具、補聴器、装具など）の活用、環境調整など、それぞれの子どもにとって最善の支援を保育・リハビリ・看護が一体となって考えながら実施。保護者とも共有し、ご家庭でも導入できるようにします。</p>
認知・行動	<p>ものの大きさ、形、色、重さ、数量、位置、距離、時間、光、音、匂い、温度など、子どもが生活の中のさまざまな要素に興味関心を持つよう多様な遊びや活動を実施し、それらの概念を楽しく学べる機会を作ります。そして、子どもが情報感度を高められるように環境を調整したり視覚支援を活用しながら、環境から収集した情報を取捨選択する力や必要な情報を優先的に収集する力、またそれらの情報を活用して行動に移す力を培うために繰り返し一緒に練習します。外界に対する認知だけではなく、子どもの自己意識や自己認知に対しても働きかけます。子どもが自身に興味を持ち、好きなこと、得意なこと、苦手なことなどに気づき、好きなことや得意なことは増やし、苦手なことやまだ経験していないことには挑戦したいと思うように、子どもとの絆を深めながら、肯定的なアプローチを実践します。将来を見据えて、子どもの意識を集団へ促すと同時に、ルールや役割の理解、順番を守る、交代する、協力し合う、状況に応じて行動をコントロールするなど集団の中で求められる行動を、段階を踏んで習得するように支援します。危険性に対する認知については、子どもの危険認知力がなぜ低いのかを考えながら、危険を回避するための環境整備ばかりではなく、遊びや活動の中でさまざま経験を積むことで危険認知力を高めるようにしています。また、実際にその状況と一緒に見ながら何が危険かを確認して、危険なことへの対処のしかたも身につけられるようにアプローチします。</p>
言語コミュニケーション	<p>お互いに「伝える(表出)」「理解する(受容)」といった相互的なコミュニケーションを、普段の関わりから大切にします。子どもが安心して人に伝えたいという気持ちを育めるよう、子どもとの信頼関係を築き続け、家庭的賑やかさのある雰囲気や環境を保つことに努めます。子どもが何か伝えようとする時は言葉が出るかどうか焦点を当てすぎず、また先回りしたり、途中で遮ったりせず、共感的に「待つ」ことや「聴く」ことを心がけます。そして、子どもにあった伝える手段を模索し、コミュニケーションの楽しさを感じながら練習・習得できるよう一緒に取り組みます。また、「子どもにとってわかりやすく」を常に心がけ、子どもの年齢やコミュニケーション能力に配慮した言葉を選択し、表現のしかたも工夫します。非言語コミュニケーション(表情、視線、ジェスチャー、手話、デモンストレーション、声質、声量、スピードや抑揚、話しかけるタイミングや間など)や視覚支援(ピクチャーカード、目印、制作活動の見本など)も用いて、事物と言葉の意味を結びつけながらコミュニケーションの疎通性の向上を図ります。一方通行にならないように、子どもの反応をみながら丁寧なやりとりをします。</p>
人間関係・社会性	<p>家族以外の大人と安定した関係を構築するところから始め、子どもの性格や遊びの発達段階に配慮しながら、他者や集団に対する意識を高められるように促し、同年代の子どもとさまざまな経験ができるように支援します。子ども同士の関わりの中で生まれる出来事を見守り、感情(うれしい、楽しい、怒り、など)の認知やその表現のしかた、気持ちの切り替えなどの手助けをします。また、集団活動に必要な能力(全体また個別指示に応じて行動する、ルールや順番を覚えて守る、良い悪いの理解・判断、他者の気持ちへの気づき、人との適切な距離感、集団の中での協調性・折り合い・譲るなど)を身につけられるように、遊びや活動の中で繰り返し伝えていきます。さらに、事業所内の決まった人とだけではなく、定期的な保育園交流や地域の施設(公園など)を利用することで、人や場との関わりを広げながら、人間関係や社会性を育む支援をします。</p>

<p>家族支援</p>	<p>連絡帳や引き継ぎの機会を通して、日々の療育の様子や支援方法について保護者へ情報共有を行います。定期的な個別面談に加えて、育児やきょうだい児についての相談など、要望や必要に応じて個別相談支援もします。また、保護者同士の交流や就学前の情報交換などを目的とした茶話会なども主催します。その他、ペアレントトレーニングやピアサポートを目的とするイベントも開催し、ご家族が地域の中で楽しく暮らせるようサポートします。</p>	<p>移行支援</p>	<p>進路や移行先の選択について悩まれているご家族へ相談支援をします。また、移行先や関連機関と子どもの状態や保護者の意向、支援方法などについて情報共有し、子どもがスムーズに移行できるように移行先の受け入れ体制づくりに協力します。保育所等と併用利用する子どもには、要望や必要に応じて保育所等訪問支援を行い、子どもが同年代のお友だちと楽しく集団生活ができるように、併用利用先と子どもの日々の支援について一緒に考え協働します。就学先とも丁寧な引き継ぎをし、要望や必要に応じて保育所等訪問支援も継続します。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>保育所等訪問支援のほかにも、子どもの支援について困り事や悩み事がある保育園等からの相談を受け、できるだけ自然な形でインクルーシブ保育が実践できるように、子どもの障がいについて理解を深めるための勉強会や保育園交流会、公開療育(見学)等を開催するなど、子どもが地域の中で生き生きと生活できるように、子どもの支援に関連する機関と連携・協働を行っています。また、公共施設(公園等)の活用など、地域とのつながりも大切にしています。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>公開療育の実施、事業所内外部の各種勉強会や研修への参加、児童発達支援管理責任者資格取得の支援なども行い、職員の質の向上を図ります。また、毎日、医療・リハビリ・保育分野の専門スタッフが揃ってミーティングし、支援の振り返りや支援の中での気づきを職員間で共有し、それぞれの専門性を高めつつ、チーム療育の質の向上にも努めています。</p>
<p>主な行事等</p>	<p>初詣、豆まき、ひな祭り、卒所式、お花見、こどもの日、七夕、水遊び、ハロウィン、お芋ほり、クリスマスなどの季節の行事に加え、毎月お誕生日会も実施しています。そのほか、オープンハウス、保育園交流、歯科検診、避難訓練、防災訓練、保護者面談を定期的に行い、就学に関する情報交換会やペアレントトレーニング・ピアサポートなどを目的としたイベントなども年に数回開催します。</p>		